

# 家畜衛生広報

## ながの



長野家畜保健衛生所  
北信家畜畜産物衛生指導協会  
〒380-0923 長野市安茂里米村1993  
026-226-0923 Fax 026-227-2665

H17(2005).7.26

### 転ばぬ先の暑熱対策！

夏場の暑熱は家畜の生産性に大きな影響を与えるだけでなく、暑さによる体力の消耗などにより、秋口の涼しくなる時期に大きな病気の原因となることがあります。

家畜が快適に夏を越せるよう、今年も暑熱対策について考えましょう。



### 暑熱の影響

牛	乳用牛	採食量や反芻行動の減少、乳量の低下、乳房炎の増加など。
	繁殖雌牛	増体成績・受胎率の低下など。 受精後7日以内、特に4日間の平均湿度が暑熱期の受胎率に影響を与えるようです。
	肥育牛	採食量の低下、増体量および体内のビタミンA濃度の低下。 ビタミンA欠乏が進行すると採食量低下も加わり、増体量が低下してしまいます。
豚	繁殖雌	発情の微弱・遅延、排卵数の減少、死産および生時体重の減少など。
	種雄豚	交尾欲の減退、造精機能の低下、精液性状不良による受胎率低下など。
	肥育豚	発育停滞、食欲減退など。
鶏	採卵鶏	産卵率や卵重の低下など。

### 暑熱対策

牛・豚・鶏いずれの畜種に対しても基本は同じですが、詳しくは以下を参照してください。

#### 舎飼家畜

##### (1) 飼料給与に注意する

牛は採食するとルーメン発酵による熱が発生します。  
特に、質の劣る粗飼料はルーメン内での発酵熱が高く、牛の暑熱ストレスを増やしてしまうため、飼料の質に注意しましょう。

一日の飼料給与量の割合を昼間は少なく、夜間に多くすると採食量低下を防げます。豚では、消化性のよい飼料の給与や油脂添加によりエネルギー摂取を促進すると良いでしょう。

新鮮な水を十分に与えましょう。

- (2) 密飼を避ける
- (3) 換気扇、送風機、ポリダクトによる送風・通風促進により体感温度を下げる
- (4) 屋根、畜舎内への散水を行う
- (5) 樹木や遮蔽物を設置する
- (6) 屋根材や壁材に断熱性の高い材質を利用する



## 放牧家畜

- (1) 日中放牧するときは、庇陰林のある牧区を使用するか涼しい時間帯だけにする
- (2) 新鮮な水を十分飲水できるようにする
- (3) 併給飼料、主要なミネラルを与え健康な状態を維持する



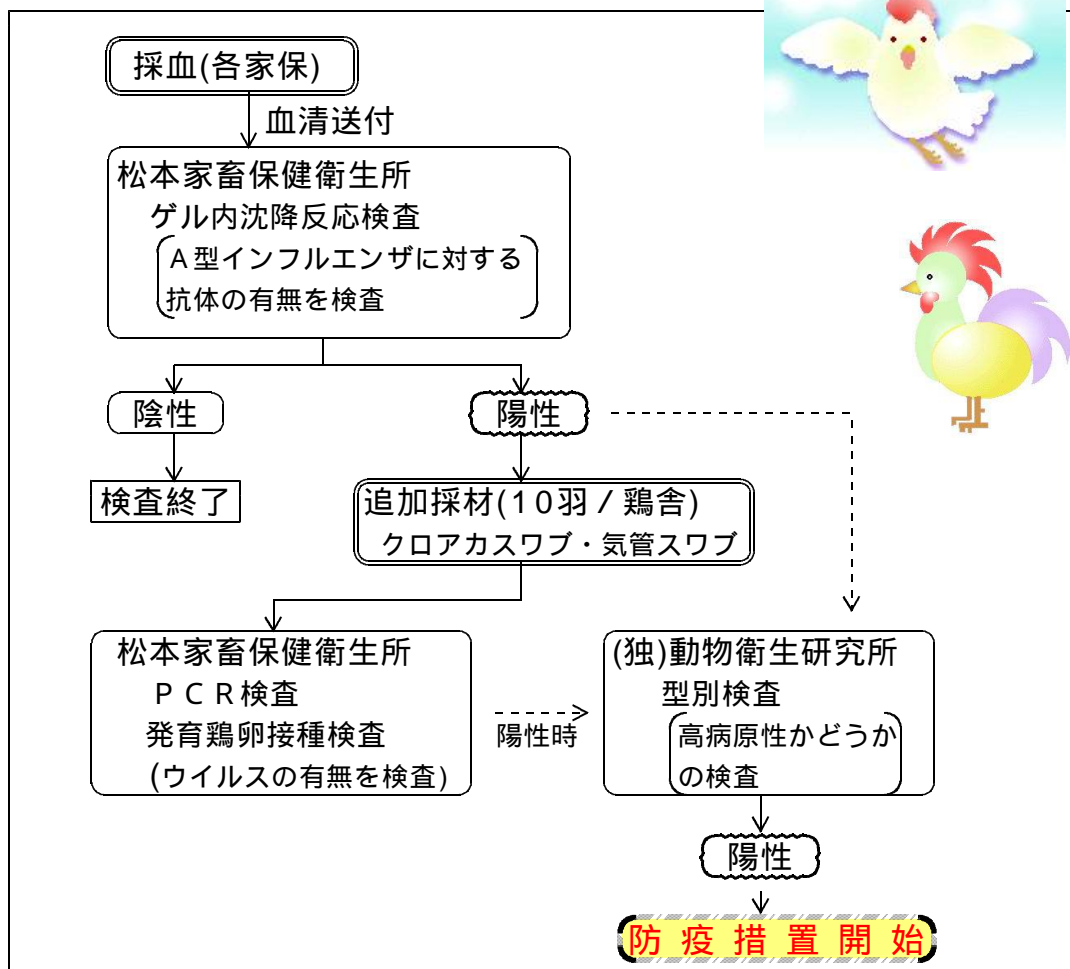
以上が一般的な対策ですが、いくつかの方法を組み合わせると、より高い効果が得られます。

家畜の行動を良く観察し、異常家畜の早期発見・早期治療に努めて生産性の低下を防止しましょう。

## 高病原性鳥インフルエンザ浸潤状況調査が始まります。

本年6月26日、茨城県の採卵鶏飼養農場において弱毒タイプの高病原性鳥インフルエンザ（以下 HPAI）が発生しました。今回の発生は明らかな症状は示さない弱毒タイプのウイルスによるものでしたが、国内の他の地域でもこの種のウイルスが存在する（潜んでいる）可能性が否定できません。そこで、HPAIの浸潤状況を把握するため、HPAI全国一斉サーベイランスの一環として本県でも下記のとおり検査を実施します。

- 1 調査対象農家 採卵鶏1,000羽以上飼養農家
- 2 検査実施期間 平成17年(2005年)7月25日から平成17年8月24日まで（予定）
- 3 採取材料 血液（1農家あたり10羽）
- 4 検査フローチャート



鶏卵、鶏肉を食べることにより、鳥インフルエンザウイルスが人に感染することは世界的にも報告されていません。また、国内で鳥インフルエンザが発生したからといって、直ちに家庭等で飼育している鳥が感染するということはありません。